

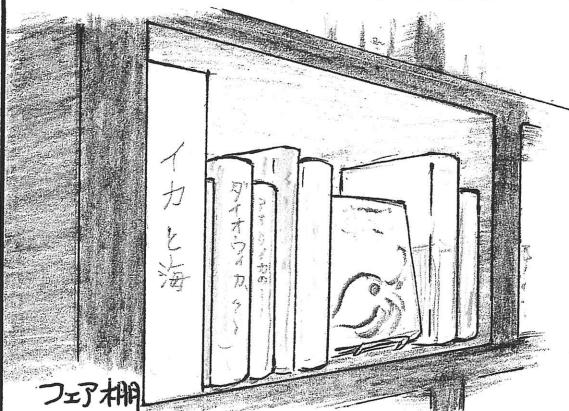
八戸ブックセンター HACHINOHE BOOK CENTER

昨年12月4日、八戸市営の書店「八戸ブックセンター」が中心市街地にオープンしました。地方の小さな書店と公営の図書館や学校の図書室とのすき間を埋めて、八戸に本が好きな人を増やすことを目的としています。

民間の書店との競合を避けるため、雑誌やコミックなどいわゆる売れ筋の品揃えはしないですが、実際に訪れてみると、思わず本を手に取りたくなるようなレイアウト。ハンモックや読書会ルームもあり、正に読みたくなる空間そのものでした。また、カンヅメブースなる、その名のとおり「カンヅメ」になって書くことに集中できる部屋もあり、読むだけではなく本を書く人も見出そうとしています。

ここで出会った本をきっかけに自分がやりたいことや目標が見つかる人も出て来るでしょうし、もしもかしたら、カンヅメブース出身の作家さんが現れる日が来るかもしれませんね。

(田名部)



お庭えんぶり

八戸の2月のお祭りと言えば、春の呼ぶ豊年祈願の郷土芸能：八戸えんぶり。何度か加久の屋便りでも紹介しています。2月17日～20日のお祭り期間中は、いろいろな場所で演舞が披露され、イベントも盛りだくさん。その一つ『お庭えんぶり』は、国の登録有形文化財に指定されている市民の集会所“更上閣”で開かれます。更上閣は、明治時代の東北を代表する財閥・泉山家の邸宅として建てられ、随所に社寺建築独特の技法を取り入れた純和風建築の日本家屋で、意匠をこらした内外を彩る彫刻も見応えがあります。



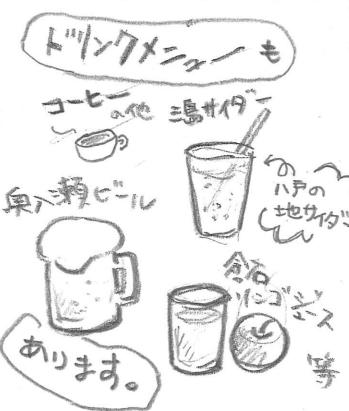
暗くなる頃、お屋敷の庭にかがり火が焚かれ、暗闇のなかに木々が浮かぶ自然の舞台となります。烏帽子姿の太夫たちが白い雪の上を舞う姿はとても風情があり、お座敷でせんべい汁と甘酒で温まりながら大旦那様気分で観ることができますよ♪

(橋本)

《お客様のお声をお聞かせください》

この紙面や八戸情報に対するお便りの他、「〇〇〇おいしかったよ。」「こんな食べ方が美味しい」といった商品に対するお便りなど、なんでも結構です。お寄せいただいたお客様の喜びの声、ご意見を元に、商品やサービスの向上に反映させてていきたいと思います。

※今後、味の加久の屋からの情報がご不要という方は、お手数でも、ダイレクトメールの封筒を、同封の返信用封筒にお入れになり、ご返送ください。



りんご県民

第60号
平成29年2月

青森県は、言わずと知れたりんごの産地です。県内で栽培されている品種は50種類以上もあります。弘前市・平川市などの津軽地方のほとんどの人々は、パッと見ただけで何の品種かを言い当てることができます。親戚や近所にりんご農家があり、小さい頃から様々な種類のりんごを食べていることと、小学校で品種を紹介した下敷きが配布されているので、知らず知らずのうちに詳しくなることがあります。県内某テレビ局の新人アナウンサーには、この下敷きが配られ、全品種を覚えることが義務づけられているそうです。さすが、りんご県民！ 果肉硬めで甘い果汁たっぷりの“つがる”、擦りりんごにするなら身が柔らかい

“ジョナゴールド”、サラダや肉巻など料理にピッタリなのは食感が良い“サンふじ”。

季節によって出荷される品種が違うので、みなさんも是非食べ比べてみて、お好みのりんごを見つけてくださいね。

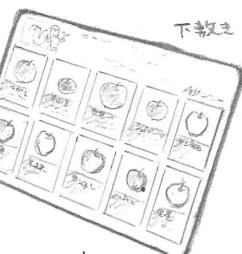


イラスト: 東